

# 令和3年度 事業調査結果A 観光分野（令和2年度実施事業）

## 調査結果Aの記載内容について

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。

- アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
- 「文の京」総合戦略の計画事業のうち、主要課題が「文化資源を活用した文化芸術の振興」「誰もが観光に訪れたくなるまちの環境整備」「都市交流の促進」「図書館機能の向上」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承」に該当する事業
- 令和2年度の重点施策事業のうち、「活力と魅力あふれるまちの創造」「文化的で豊かな共生社会の実現」に該当し、アカデミー推進計画の5分野に関係する事業

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
  - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「総合戦略事業番号」
  - ・「「文の京」総合戦略」の計画事業の事業番号
- 「事業名」
  - ・事業名
- 「事業概要」
  - ・事業概要
- 「事業費」
  - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
  - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
  - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
  - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
  - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
  - ・令和2年度事業の実施状況
- 「成果」
  - ・事業で得られた成果
- 「課題」
  - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
  - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
  - ・事業を担当する課

観光 (所管課)	
<b>【分野別目標1】 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出</b>	
1 観光写真コンクール	アカデミー推進課
2 肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	みどり公園課/アカデミー推進課
3 展望ラウンジ観光拠点化事業	アカデミー推進課
4 まち並みウォッチング	住環境課
5 文の京都市景観賞	住環境課
6 SNSを活用した観光キャンペーン	アカデミー推進課
7 歴史的建造物の活用	アカデミー推進課
8 文の京ゆかりの文人支援事業	アカデミー推進課
9 文の京ゆかりの文人銘菓	アカデミー推進課
10 観光リーフレット作成	アカデミー推進課
11 コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	区民課
12 自転車シェアリング事業	管理課
13 無料公衆無線LANの整備	情報政策課
14 観光インフォメーション	アカデミー推進課
15 観光PRポスター作成	アカデミー推進課
16 インバウンド歓迎戦略2020～おもてなしの金メダル獲得プラン～	アカデミー推進課
<b>【分野別目標2】 情報の収集・活用による来訪の促進</b>	
17 観光ガイド事業	アカデミー推進課
18(再掲) 歴史的建造物の活用	アカデミー推進課
19(再掲) 文の京ゆかりの文人支援事業	アカデミー推進課
20(再掲) 文の京ゆかりの文人銘菓	アカデミー推進課
21 フィルムコミッション事業	アカデミー推進課
22 花の五大まつり等助成	アカデミー推進課
23 国内交流事業	アカデミー推進課
24 食材購入費補助事業	アカデミー推進課
<b>【分野別目標3】 持続可能なまちづくりを支える仕組みづくり</b>	
26 観光協会振興助成	アカデミー推進課
27 バリアフリーの推進	都市計画課
28 外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課

令和3年度 事業調査結果A 観光分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標1】 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘														
1	54		観光写真コンクール	区内の名所・旧跡等の歴史文化遺産や文京花の五大まつりの風物詩等、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	例年区内の名所・旧跡、風物詩等を広く紹介し、地域振興に努めるとともに、文京区の魅力を区内外に発信し、誘客を図ることを目的に、観光写真コンクールを実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のためコンクールは開催せず、過去に受賞した入区作品の写真展を開催した。(写真展)11月30日～12月3日(過去の写真コンクール募集期間)8月1日～9月21日	文京区の魅力を多方面にPRすることができた。	区民以外からの認知度を高め、応募者を増やすため、部門の新設や、周知方法等を検討する必要がある。また、コロナ禍におけるコンクールの実施に当たり、適切な対策を講じる必要がある。	より多くの人が参加可能となるよう、SNSを活用した写真コンクール等の実施を検討する。周知方法の工夫を図り、区外の人の参加を促進する。	アカデミー推進課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	(過去申込数) 応募者数 157人 応募点数 514点						
2	54		肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与するため、歴史性のある肥後細川庭園及び松聲閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画する。	予算	4	当初予定数(定員等)	—	—	指定事業「目白台”涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間)令和2年7月23日(木祝)から8月30日(日)まで(場所)肥後細川庭園 松聲閣(内容)周遊企画の写真撮影や指定ハッシュタグを付けたSNS写真公開によるノベルティプレゼント、永青文庫と喫茶「椿」の割引コラボレーション(協力)永青文庫、日本気象協会、目白台運動公園	①コロナ禍・猛暑期において、地域の緑の魅力を感じながら外出する機会を提供できた。 ②各施設の利用活性が図れた。 ③コロナ禍においても近隣施設との連携事業が展開できた。	①参加施設からホテル椿山荘東京が外れ、広報・告知力が落ちたと思われる。 ②コロナ禍で大々的な告知がはばかられる中での開催となったことも、広報不足となった要因と思われる。 ③周遊時の各所の魅力紹介などが図れなかった。	①開催に際してリーフレットの部数を増やし、参加施設各所や観光協会等への周知に努める。 ②周遊ノベルティの新規作成(周遊魅力の向上) ③リーフレットにおける各所の魅力紹介	みどり公園課/アカデミー推進課
					決算	4	実績数	—						
							申込数	—						
3	121		展望ラウンジ観光拠点化事業	シビックセンター25階の展望ラウンジにおいて、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的とした事業「Sky View Lounge BAR」を実施する。	予算	1,276	当初予定数(定員等)	12回	—	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度の開催を全て中止した。	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度の開催を全て中止した。	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食を含む本イベントは当面の間開催が困難なため、コロナ共存期における適切な事業実施方法を検討する必要がある。	コロナ共存期における適切な事業の実施方法を観光協会等と共同で企画検討する。	アカデミー推進課
					決算	15	実績数	—						
							申込数	—						
4	54		まち並みウォッチング	都市景観に対する区民の意識向上を図るため、まち歩きにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つける。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルスの影響で中止。	—	リピーターの参加者も多い中、コースがマンネリ化しつつあることで飽きられる可能性がある。	誰が参加しても新たな発見ができるようにコースや内容を工夫していく。	住環境課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						
5	54		文の京都市景観賞	都市景観に対する区民及び事業者の意識向上を図るため、優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、表彰する。	予算	445	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルスの影響で中止。	—	事業の認知度を高め、応募数を増やすため、賞の統合、創設など内容の見直しを行う必要がある。また、コロナ禍における事業の実施に当たり、適切な対策を講じる必要がある。	景観づくり審議会において、景観賞の再構築を行い、応募増加を目指す。	住環境課
					決算	344	実績数	—						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	当初予定数(定員等)	実績数	申込数							
6			SNSを活用した観光キャンペーン	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、外国人観光客を始めとする都内への観光客が減少する中、区民が区内の魅力を発見・再確認するとともに、区民の区内周遊を促すため、SNSを活用したキャンペーンを行う。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)文京トリビアのたまご 職員考案の文京区の観光等に係る問題を区HPにて公開し、ハッシュタグ「#文京トリビア検定に挑戦」をつけて、SNS投稿を促すキャンペーンを行った。 (2)写真投稿キャンペーン 文京区内おすすめスポット等(36ヶ所)の写真を、ハッシュタグ「#ディスカバー文京」をつけて、応援メッセージ等とともにSNSで投稿された方に、抽選で景品をプレゼントするキャンペーンを行った。 (3)デジタルスタンプラリーキャンペーン 文京区内の観光スポットを対象に、非接触型のデジタルスタンプラリーを開催し、参加者に抽選で景品をプレゼントするキャンペーンを行った。 (4)レシートキャンペーン 文京区内の飲食店等で、期間中、5,000円以上のレシートを集めてLINEにて応募された方に、1,000円分の電子マネー等をキャッシュバックするキャンペーンを行った。	4つのキャンペーンの累計で延べ10,000人の参加があり、区内周遊の活性化につなげることができた。また、各キャンペーンで使用したSNSアカウントのフォロワー数が大幅に増加しており、今後の観光施策のPRに使用することができる。	次年度以降も、本キャンペーンのような、新しい生活様式に対応した非接触等の形式での事業の考案・実施が必要となる。	感染拡大防止を考慮し、オンライン等の非接触の手法を取り入れつつ、臨場感を味わえるリアルでの事業を組み合わせる等、新たな形での観光振興施策を実施していく。	アカデミー 推進課
					決算	25,453	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(2)】「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開															
7	50		歴史的建造物の活用	樋口一葉ゆかりの文学史跡である旧伊勢屋質店において、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物公開(内部含)、概要展示、観光案内等の活用事業を行う。	予算	2,675	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)建物内部の公開 公開日数:52日 来場者:717人 (2)観光資料の配布・問合せ対応 (3)解説パネル、施設案内表示等の製作・展示 (4)建物公開に関する印刷物の製作・配布	本区の貴重な文化資産である「旧伊勢屋質店」の建物公開を通じて、建物に関する知識の普及啓発を行うとともに、本郷エリアの情報発信に取り組んだ。(第1回緊急事態宣言中は公開中止・第2回緊急事態宣言中は感染症対策の上、公開)	感染症対策の上、より多くの来館があるよう、建物を所有する跡見学園と連携し、双方のホームページを活用した広報等の方法を工夫する必要がある。	来訪者への口頭説明の代替として、配布するパンフレット内容のさらなる充実や、ホームページ・関連施設での新たな広報について検討する。	アカデミー 推進課
					決算	2,675	実績数	717人	—						
							申込数	—	—						
8	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助する。	予算	200	当初予定数(定員等)	120人	—	—	令和2年度文京一葉忌(一葉になろう!) ※コロナウイルス感染予防対策として、一葉忌は行わず、樋口一葉になりきって書いた小説を募集・文芸誌に掲載するなど実施内容を変更した。	実施にあたり、ポスター・パンフレットの配架を通し周知活動を行った。	コロナ禍における実施の内容・方法について検討する必要がある。また、広く周知し、多くの方に参加してもらえるよう広報を工夫する必要がある。	文京一葉会と事業の実施内容等について密に情報共有し、必要に応じて助言を行う。また、双方の広報媒体を最大限に活用し、広く周知を行っていく。	アカデミー 推進課
					決算	200	実績数	23人	19.2%						
							申込数	—	—						
9	55		文の京ゆかりの文人銘菓	文京区の代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売することで、地域ブランドを向上させ、PRを行う。	予算	400	当初予定数(定員等)	120部	—	—	冊子印刷部数:5,000部 例年の実施内容:区年賀会での販売及び、スカイビューラウンジバーでの販売機会の提供	文人銘菓カタログの増刷を行うとともに、例年は年賀会等への出店補助を行っている。(令和2年度はコロナの為開催なし)	文人銘菓カタログのより多くの関係施設への配架及び文京グルメマップに掲載する等、積極的なPRを行う必要がある。	カタログの配架先や新たな掲載方法について検討する。	アカデミー 推進課
					決算	400	実績数	120部	100%						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
<b>【基本的な方向性(3)】 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり</b>														
10	56	123	観光リーフレット作成	区内観光施設や名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレット等を作成する。	予算	10,114	当初予定数(定員等)	—	—	観光ガイドマップについて、漫画「ちはやふる」とコラボし、デザイン変更を行った。 ＜作成部数＞ ・観光ガイドマップ 日本語版74,000部、英語版6,000部、中国語版(簡体字)2,000部、中国語版(繁体字)2,000部、ハンガール版1,000部 ・文京グルメマップ 日本語版80,000部(外国語版はWebのみ)	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うことにより、区内外へ本区の情報を広く発信することができた。	掲載コンテンツの充実を図るとともに、より幅広い方にご覧いただけるよう、Web版等の紙面以外の掲載方法についても充実を図る。	区や観光協会ホームページ上での視認性の改善などコンテンツの質を向上させるとともに、国や都の観光関連サイトへの掲載等、閲覧機会の更なる創出も図る。	アカデミー推進課
					決算	11,288	実績数	16,500 部						
							申込数	—						
11	56	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	公共交通不便地域の解消を図るため、コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出す。	予算	159,129	当初予定数(定員等)	—	—	令和2年度利用客数 千駄木・駒込ルート:336,277人(前年度比: -31%) 目白台・小日向ルート:301,174人(前年度比: -32%)	区内の公共交通不便地域の解消のため、千駄木・駒込ルート及び目白台・小日向ルートの2系統を運行した。また、公共交通不便地域の更なる解消のため、新規路線導入に向けた準備を進めるとともに、目白台・小日向ルートの車両購入等により、利便性の向上に努めた。	新規路線導入にあたり、各関係機関と協議・調整を進める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の流行による利用者数の減少や、バス車内の感染症対策等の課題が生じている。	新規路線の令和3年9月の運行開始を目指し、関係機関との協議・調整を進めていく。また、新型コロナウイルス感染症の影響による交通需要の変化に注視する。今後は持続的な運行を可能とするために車内広告モニターを導入し、運賃外収入の向上に努めるとともに、既存路線の利用者数の維持・拡大に努めていく。	区民課	
				決算	153,894	実績数	637,418 人							
						申込数	—							
12		自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	予算	15,937	当初予定数(定員等)	—	—	地域・観光の活性化、環境負荷軽減などの効果が見込まれる自転車シェアリング事業の実証実験を平成29年1月より実施し、令和2年4月より本格実施に移した。	令和3年3月31日時点での文京区における会員登録数は34,996人、整備した自転車台数800台、サイクルポート数68箇所、令和2年度の年間利用回数は733,567回となり、移動の利便性が向上している。	サイクルポートの増設が難しい状況である。また、自転車のバッテリー切れ、ポートでの自転車の不足及び溢れが問題となっている。	自転車の溢れ、バッテリー切れについて、連携各区や運営事業者と協力し改善策を検討していく。サイクルポートの拡充について、公有地だけでなく民有地の施設管理者とも運営事業者と協力し協議を行っていく。	管理課	
				決算	376	実績数	—							
						申込数	—							
13		無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客や施設利用者へ文京区の観光情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備する。	予算	3,559	当初予定数(定員等)	—	—	公衆無線LANの環境を整備した。	六義園運動公園等に無料公衆無線LANの整備した。	公衆無線LAN導入当初に比べ、様々な機種が製品化されていることから、今後の機器更改に向けて比較検討する。	運用コスト等を勘案して機器更改を検討していく。	情報政策課	
				決算	3,240	実績数	—							
						申込数	—							
<b>【基本的な方向性(4)】 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり</b>														
14	47	123	観光インフォメーション	観光に関する情報の収集及び提供等を行うことにより、区の観光振興を図り、地域の活性化に寄与するため、シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行う。	予算	15,914	当初予定数(定員等)	—	—	文京区観光協会に管理・運営を委託し、午前9時30分から午後6時まで開所し、来訪者対応を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4/9～5/31まで窓口を一時閉鎖した。 ・来所者数 6,439人 ・相談件数 1,857件	区内観光施設等に関する利用者からの問い合わせに対して、迅速に情報提供を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により来所相談のニーズが減少し、ホームページやSNSを用いて情報を得る利用者が増加していることが考えられる。そのため、こうしたツールを利用した情報発信力を強化していく必要がある。	リニューアルした観光協会のホームページの充実を図るとともに、SNSを活用し、様々な情報を提供できるよう、より積極的に観光情報の発信を行う。	アカデミー推進課
					決算	15,856	実績数	1,857 件						
							申込数	—						
15	47	観光PRポスター作成	観光PRポスターを作成し区内外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、観光客誘致及び区のイメージアップを図る。	予算	1,046	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年ポスター作成の素材としている観光写真コンクールが中止となったことや、観光誘致を目的としたポスター作成・掲出が困難なことから、本事業も中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年ポスター作成の素材としている観光写真コンクールが中止となったことや、観光誘致を目的としたポスター作成・掲出が困難なことから、本事業も中止した。	区内の観光スポットをより多くの方に認知してもらい誘客につなげるため、分かりやすく目を引くデザインなど、見せ方を工夫する必要がある。	観光写真コンクールに加え、SNS版コンクールの写真も活用するなど、魅力が伝わる写真を選定する。また、よりインパクトのあるポスターを作成するためにデザイナー活用も検討する。	アカデミー推進課	
				決算	842	実績数	—							
						申込数	—							
16		インバウンド歓迎戦略2020～おもてなしの金メダル獲得プラン～	東京2020大会の開催により、更に増加が見込まれる外国人観光客のニーズを踏まえ、ナイトライフ観光事業や日本文化体験、伝統工芸展等を実施する。また、外国人向けの情報発信の手段の充実を図るほか、外国人住民等による母国語での観光案内を実施する。	予算	23,898	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業を全て中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業を全て中止した。	現在は入国制限等の影響によりインバウンド需要が激減しているが、今後のインバウンド回復期を見据え、外国人観光客の受入態勢の強化及び海外に向けた観光情報発信を行う必要がある。	多言語対応の観光リーフレットやホームページでの案内を充実させるなど、外国人観光客が戻った際の環境整備を行うとともに、2年度に実施したマーケティング調査結果を踏まえ、今後の取組等について検討する。	アカデミー推進課	
				決算	0	実績数	—							
						申込数	—							

令和3年度 事業調査結果A 観光分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標2】情報の収集・活用による来訪の促進

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】国内外における文京区の観光ニーズの把握															
17	54	124	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行う。	予算	2,433	当初予定数(定員等)	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度のガイドツアーは全て中止した。CATVでのガイド事業紹介や、区ホームページでのガイドコース紹介の作成等を行った。	通常の対面によるガイドツアーの代替事業として、新たな生活様式に対応した形でのガイド事業に取り組んだ。	対面によるガイドを再開するに当たっての感染防止対策を整える必要がある。また、今後も一定のニーズが想定される、オンライン等の新たな形でのガイド事業も併せて行う必要がある。	事業委託先の観光協会や観光ガイドと協議の上、再開に向けた万全の衛生対策を整えるとともに、観光ガイドが持つ豊富な知識を生かした新たな事業を展開する。	アカデミー推進課
					決算	874	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(2)】文京区の地域ブランド力向上															
18	50		歴史的建造物の活用	樋口一葉ゆかりの文学史跡である旧伊勢屋質店において、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物公開(内部含)、概要展示、観光案内等の活用事業を行う。	予算	2,675	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)建物内部の公開 公開日数:52日 来場者:717人 (2)観光資料の配布・問合せ対応 (3)解説パネル、施設案内表示等の製作・展示 (4)建物公開に関する印刷物の製作・配布	本区の貴重な文化資産である「旧伊勢屋質店」の建物公開を通じて、建物に関する知識の普及啓発を行うとともに、本郷エリアの情報発信に取り組んだ。(第1回緊急事態宣言中は公開中止・第2回緊急事態宣言中は感染対策の上、公開)	感染症対策の上、より多くの来館があるよう、建物を所有する跡見学園と連携し、双方のホームページを活用した広報等の方法を工夫する必要がある。	来訪者への口頭説明の代替として、配布するパンフレット内容のさらなる充実や、ホームページ・関連施設での新たな広報について検討する。	アカデミー推進課
					決算	2,675	実績数	717人	—						
							申込数	—	—						
19	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助する。	予算	200	当初予定数(定員等)	120人	—	—	令和2年度文京一葉忌(一葉になろう!) ※コロナウイルス感染予防対策として、一葉忌は行わず、樋口一葉になりきって書いた小説を募集・文芸誌に掲載するなど実施内容を変更した。	実施にあたり、ポスター・パンフレットの配架を通し周知活動を行った。	コロナ禍における実施の内容・方法について検討する必要がある。また、広く周知し、多くの方に参加してもらえるよう広報を工夫する必要がある。	文京一葉会と事業の実施内容等について密に情報共有し、必要に応じて助言を行う。また、双方の広報媒体を最大限に活用し、広く周知を行っていく。	アカデミー推進課
					決算	200	実績数	23人	19.2%						
							申込数	—	—						
20	55		文の京ゆかりの文人銘菓	文京区の代表的な文人たちちなんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売することで、地域ブランドを向上させ、PRを行う。	予算	400	当初予定数(定員等)	120部	—	—	冊子印刷部数:5,000部 例年の実施内容:区年賀会での販売及び、スカイビューラウンジバーでの販売機会の提供	文人銘菓カタログの増刷を行うとともに、例年は年賀会等への出店補助を行っている。(令和2年度はコロナの為開催なし)	文人銘菓カタログのより多くの関係施設への配架及び文京グルメマップに掲載する等、積極的なPRを行う必要がある。	カタログの配架先や新たな掲載方法について検討する。	アカデミー推進課
					決算	400	実績数	120部	100%						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(3)】効果的な双方向の観光情報発信															
21	60		フィルムコミッション事業	映像制作事業者を積極的に誘致するとともに、円滑なロケーション撮影を行うための各種申請、調整等のサポートを行う。	予算	15	当初予定数(定員等)	9件	—	—	撮影協力実績:4件	区有施設がメディアで取り上げられることにより、区の魅力を多方面に発信することができた。(令和2年度はコロナウイルス感染防止に伴い撮影できない期間もあった。)	より多くのメディアに対し、広く区内のロケーションを発信するとともに、スムーズなサポートを行い、申請時の負担軽減を図る必要がある。また、コロナ感染予防の呼びかけをする必要もある。	関係各所との迅速な情報共有を行い申請に必要とする期間を短縮する。	アカデミー推進課
					決算	12	実績数	4件	44.4%						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(4)】 活気ある交流の仕組みづくり															
22	61	121	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行う。	予算	10,370	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は全てのまつりが中止となった。 ※菊まつりは規模を縮小し「文京菊花展」として開催。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は全てのまつりが中止となった。 ※菊まつりは規模を縮小し「文京菊花展」として開催。	まつりの再開に向け、ハード・ソフト両面で感染防止対策を整える必要がある。	令和3年度に創設した「まつり復興補助金」等を用いて、各実行委員会が再開に向けた準備を進められるよう、必要に応じて助言を行う。	アカデミー推進課	
					決算	3,060	実績数	20万人							
							申込数	—							
23	58	126	国内交流事業	区と友好関係にある自治体との交流事業の拡充を図るほか、全国の自治体との事業協力を行う。	予算	1,969	当初予定数(定員等)	10件	—	区と全国の各地域において住民同士の交流や連携を促進するため、区内で活動する非営利団体が、住民間の相互交流事業を実施した際に要した費用の一部を補助する「文京区国内交流・連携事業補助金事業」を実施した。 補助件数:6件 補助金総額:415,933円	スポーツや文化関連の事業を通じた各地域との住民同士の交流を行った団体に、補助することで、国内交流の促進につながった。オンラインによる交流を行った団体に補助することで、新型コロナウイルス流行状況下においても国内交流を促進することが出来た。	新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、協定等締結自治体との積極的な交流は継続・促進する必要がある。	文化・観光・産業・スポーツ等、多岐にわたり、国内交流促進のための効果的な施策を実施していく。引き続きオンラインによる交流についても支援していく。	アカデミー推進課	
					決算	540	実績数	6件							60.0%
							申込数	8件							80.0%
24		126	食材購入費補助事業	区内で営業する飲食店等が、本区と交流のある自治体で生産された食材を活用して料理または商品を提供した際に要した費用の一部を補助する。	予算	2,344	当初予定数(定員等)	20件	—	(1)国内交流自治体食材購入費補助金事業 協定等締結自治体との食を通じた交流を活性化し、住民間の交流促進につなげるため、区内飲食店等が、当該自治体で生産された食材を活用し、料理又は商品を提供・販売した際の食材購入費の一部を補助した。 補助件数:21店舗 補助金総額:1,346,000円 (2)食めぐりスタンプラリー (1)の交流自治体の魅力発信及び補助金交付店舗の販売促進を目的として、料理提供期間に合わせ、スタンプラリーを実施した。参加者に抽選で交流自治体に因んだ賞品をプレゼントした。 スタンプラリー期間:令和2年10月～12月 スタンプラリー応募数:384通 賞品:53点 (3)仕入れ確保協力金 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を踏まえ、食材補助金交付決定店舗に対し(1)の交流自治体からの食材の直接購入に加え、区内仕入業者からの食材確保の協力を求め、これに応じた店舗に対して協力金を交付した。 協力金支給件数:10店舗 協力金支給額:379,000円	協定等締結自治体産の食材を通じて、多くの区民に協定等締結自治体の魅力を周知することができた。また料理提供期間に合わせてスタンプラリーを実施することで、飲食店の販売促進につながり、相乗効果が得られた。参加者に抽選でプレゼントする賞品を交流自治体に因んだ賞品としたことも周知につながった。	補助事業終了後も、区内飲食店と協定等締結自治体先の仕入事業者との交流を継続していくことが課題である。	補助件数増加及びスタンプラリーを継続し、交流自治体の魅力を発信するとともに、住民間の交流につなげていく。	アカデミー推進課	
					決算	2,625	実績数	21件							
							申込数	24件							

令和3年度 事業調査結果A 観光分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標3】 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(1)】 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築															
25	62		観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図る。	予算	12,562	当初予定数(定員等)	—	—	まつり等観光PR、観光写真コンクール等の事業運営費及び事務局職員人件費等の補助を行った。	観光協会が実施する事業に対して費用の補助を行うことで、本区の観光振興発展に係る事業の充実につなげることができた。	with~afterコロナにおける新たな観光施策に、観光協会がより主体的に取り組み、観光振興の更なる充実が図られるよう、補助対象や補助金額を精査する必要がある。	より有効に本補助金が活用され、観光振興につながる新たな事業の実施へとつながるよう、観光協会と連携し区として適切な補助を行う。	アカデミー推進課	
					決算	11,685	実績数	—							
							申込数	—							
【基本的な方向性(2)】 安心・安全で優しいまちを実現する環境づくりの推進															
26	63		バリアフリーの推進	文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画に掲載した特定事業の進捗管理を行い、特定事業の実施にあたって事業経費の補助を行う。	予算	10,758	当初予定数(定員等)	3件	—	地区別計画に定める特定事業について、毎年度の進捗状況を管理する。各施設設置管理者より申請があった場合、事業経費を補助する。※令和2年度まで。	特定事業を掲載した全ての施設設置管理者より進捗報告を受けている。補助制度については、平成30年度以降、計3件の申請があり、交付を行った。	令和2年度から3年度までの中間評価に向け、施設設置管理者と密に連携し、更なる推進が図られるよう、課題の整理を行う必要がある。	中間評価に向け、各施設設置管理者へ進捗状況に加えて未実施事業の見込みや、事業の修正について照会する。	都市計画課	
					決算	4,932	実績数	0件							
							申込数	—							
【基本的な方向性(3)】 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成															
27			外国人おもてなし隊育成事業	平易な英語で外国人に対するおもてなしを学ぶ「外国人おもてなし英語力UP講座」や、区内留学生とやさしい日本語で交流する「優しい日本語で留学生とオンライン交流会」を実施する。	予算	336	当初予定数(定員等)	65人	—	(1) 外国人おもてなし英語力UP講座 ア) 内容:外国人に対し、道案内や交通手段、緊急時の手助け、区内観光地の紹介等ができる程度の英語を学び、ロールプレイ等を通して、おもてなしの英語力を強化する。 イ) 対象:文京区内在住・在勤・在学の15歳以上の方(中学生は除く) ウ) 講師:Radseck Brett William 氏 エ) 参加費:無料 オ) 開催日:令和2年10月10日(土) 14時から15時30分まで(休憩時間含む) カ) 場所:文京ソニックセンター26階スカイホール キ) 参加者:17人 (2) やさしい日本語で留学生と交流 ア) 内容:やさしい日本語について説明後、グループ分けし、グループごとにやさしい日本語を使った交流を実践。 イ) 対象:文京区内在住・在勤・在学の方(未就学児は不可) ウ) 講師:ABK学館日本語学校 亀山稔史 氏 エ) 参加費:無料 オ) 開催日:令和2年12月12日(土)午前10時から正午まで カ) 形式:Web会議システムZoomを活用オンライン形式 キ) 参加者:日本人22人 留学生14人	外国人おもてなし英語力UP講座においては、外国人講師から文京区内の道案内や観光地の紹介方法を学ぶことで、参加者がより実践的なおもてなしの英語力を身につけることができた。 また、やさしい日本語で留学生と交流会をオンラインで開催することで、外国人住民と区民の相互理解を深めることができた。	オンラインでの開催は、新型コロナウイルス感染防止の観点では有効であるものの、参加者がZoomに慣れている人に限定されてしまう。	外国人おもてなし隊育成事業は、令和2年度で終了するが、「やさしい日本語で留学生と交流」については実施方法等を再度検討し、継続して実施していく。外国人にも情報をわかりやすく伝えることができるやさしい日本語の活用は、今後も継続していく必要がある。	アカデミー推進課	
					決算	168	実績数	53人							81.5%
							申込数	68人							104.6%